

【実践内容】

＜指導者の願い＞

- ◎ 短く単調な曲であるが、この曲を一人ひとりが楽しんで欲しい。
- ◎ 演奏の工夫（編曲）の楽しさを味わって欲しい。
- ◎ 音楽（曲）を構成するものを自然に理解して欲しい。

＜学習の流れ＞

- 1 主旋律に合わせ、身体反応をする。
- 2 主旋律を歌う。
- 3 歌詞から、情景を想像する。
- 4 鍵盤ハーモニカで主旋律を演奏する。
- 5 鍵盤ハーモニカで副旋律を演奏する。
- 6 グループで、話し合いをしたり、練習をしたりして合奏を仕上げる。

汽車に乗った経験や、汽車の車窓から見える景色等を想像する。
情景が伝わるように工夫して歌う。

歌の時と同じように、楽器で情景が伝わるように演奏できるかな。
演奏したいな。

ようす（情景）が伝わるようにするにはどうしたらよいだらう。

- 速さ ○ 音の大きさ ○ 音色（楽器） ○ ナレーション
- ・ホワイトボードに記入しながら、話し合いを進める。

	スピード	音の大きさ	音色（楽器）	ナレーション
1番	だんだん速くする。	ふつうの大きさ	主 鍵盤ハーモニカ 副 もっきん 低 スリットドラム その他 ベル	汽車は、小田原を出発します。
2番	速いまま	小さくする	主 グロッケン その他 チャターボックス ギロ	トンネルに入りました。
3番	だんだんゆっくり	大きくしたり、小さくしたり。	1番と同じ	上り坂です。

※ グループによって形は違う。繰り返す回数も違う。

- ・1時間の終わりに、発表の時間を設け、感想や、アドバイスを伝え合う。

- 7 発表会を開く。

【反省】

活動を進めていく過程で、曲（音楽）の要素（速度・強弱・音色 等）を意識することができてきている。テンポを変えるだけでも、雰囲気が変化することや、音色の面白さなども感じる事ができた。1番と2番のつながりにまで、工夫をするグループもある。中間発表をすることで、新しい気付きができ、次の活動に活かされている。発表会をするのを今から楽しみにしている。